

教育委員会事務の点検・評価
(平成 29 年度分報告書)

野々市市教育委員会

平成 30 年 9 月

目 次

<u>1</u>	<u>教育委員会事務の点検・評価について</u>	1
	(1) 趣旨.....	1
	(2) 対象年度.....	1
	(3) 実施方法.....	1
<u>2</u>	<u>教育委員会会議及び活動状況</u>	3
	(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項.....	3
	(2) 教育委員会活動の概要.....	5
	(3) 自己評価.....	6
	(4) 学識経験者からの意見.....	7
	(5) 今後の方針.....	7
<u>3</u>	<u>事務事業所管課別点検評価</u>	8
	(1-1) 教育総務課所管事業.....	8
	(1-2) 学識経験者からの意見.....	24
	(1-3) 今後の方針.....	24
	(2-1) 学校教育課所管事業.....	25
	(2-2) 学識経験者からの意見.....	43
	(2-3) 今後の方針.....	43
	(3-1) 生涯学習課所管事業.....	44
	(3-2) 学識経験者からの意見.....	68
	(3-3) 今後の方針.....	68
	(4-1) 文化課所管事業.....	69
	(4-2) 学識経験者からの意見.....	92
	(4-3) 今後の方針.....	92
	(5-1) スポーツ振興課所管事業.....	93
	(5-2) 学識経験者からの意見.....	106
	(5-3) 今後の方針.....	106
	(6-1) 中央地区整備事業対策室所管事業.....	107
	(6-2) 学識経験者からの意見.....	110
	(6-3) 今後の方針.....	110
<u>4</u>	<u>参考資料</u>	111
	(1) 野々市市教育委員会組織.....	111

1 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣旨

野々市市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政のさらなる推進を目指して、平成 29 年度分についての教育行政事務の点検・評価を実施しました。

これらについての成果や課題を確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、具体的なそして効果的な教育行政の一層の推進を図ることとします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 対象年度

平成 29 年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

(3) 実施方法

① 教育委員が直接に関与し、また活動している事項と教育長に委任する事務に区分整理し、点検・評価を行いました。

② 教育長に委任する事務については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、96 項目の評価シートに抽出分類し、自己点検、自己評価を行いました。

自己評価については、評価シート毎に次のとおり 7 段階評価を行いました。

【評価基準（7段階評価）】

評価	内 容
A	拡大・重点化
B	改善
C	継続
D	縮小
E	終了・完了（今年度中）
F	統合（今年度中）
G	廃止（今年度中）

【今後の展開】

評価	内 容
↗	事業規模の拡大
→	事業規模の維持
↘	事業規模の縮小
×	当該年度には実施していない

③ 上記により取りまとめた評価シートを「教育総務課」、「学校教育課」、「生涯学習課」、「文化課」、「スポーツ振興課」、「中央地区整備事業対策室」という5つの課及び1つの室の事業に分類し、項目毎に客観的視点を確保するため、学識経験を有し、本市の教育行政にご理解のある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。

また、このご意見や点検・評価に基づいた今後に向けた改善・改革すべき事項を「今後の方針」として取りまとめ項目毎に記載しました。

（50音順・敬称略）

氏 名	公 職 等
岡田 實	元小学校校長 元民生委員・児童委員
笠間 悟	野々市公民館長
長谷川 芳彦	元野々市市スポーツ推進委員協議会会長 富奥公民館長

2 教育委員会会議及び活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

野々市市教育委員会は、「野々市市教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のように12回の定例会及び3回の臨時会を開催しました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に規定される職務権限及び「野々市市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、以下のように審議しました。

教育委員会 会議開催日	定例会又 は臨時会 の別	議案番号	件 名	報告 事項 件数
4月7日	臨時会	第7号議案 第8号議案	平成29年度教育委員会関係委員の委嘱について 野々市市教育委員会事務局処務規程の一部を改正 する規程について	3件
4月26日	定例会	第9号議案 第10号議案	平成29年度教育目標について 平成29年度教育委員会関係委員の委嘱について	8件
5月26日	定例会	第11号議案 第12号議案 第13号議案 第14号議案 第15号議案 第16号議案 第17号議案	平成28年度野々市市一般会計補正予算(3月31日付 け専決処分)教育費関係について 平成29年度野々市市一般会計補正予算(6月補正) 教育費関係について 野々市市教育ユニバーサルプランの中間評価及び 見直しの諮問について 野々市市立図書館設置条例の一部を改正する条例 について 学びの杜ののいち条例について 野々市市民学習センター条例について 公の施設に係る指定管理者の指定について	6件
6月28日	定例会		※報告案件のみ	11件
7月31日	定例会	第18号議案	平成30年度使用小学校教科書採択について	7件
8月30日	定例会	第19号議案 第20号議案 第21号議案	平成29年度野々市市一般会計補正予算(9月補正) 教育費関係について 平成29年度野々市市教育委員会表彰被表彰者選考 について 教育委員会事務の点検・評価(平成28年度分報告書) について	11件

		第22号議案 第23号議案 第24号議案	野々市市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について 野々市市民学習センター条例施行規則について 野々市中央地区整備事業に係る「特定事業契約の締結について」の議決の一部変更について	
9月25日	定例会	第25号議案 第26号議案 第27号議案	平成29年度野々市市教育委員会表彰被表彰者選考（8月定例会選考分以降）について 教育委員会事務の点検・評価（平成28年度分報告書）について 所管する学校に対する業務改善方針及び計画等について	13件
10月2日	臨時会		※報告案件のみ	1件
10月27日	定例会	第28号議案 第29号議案	平成29年11月1日付け職員異動内示について 所管する学校に対する業務改善方針及び計画等について	8件
11月29日	定例会	第30号議案 第31号議案	平成29年度野々市市一般会計補正予算（12月補正）教育費関係について 野々市市教育ユニバーサルプランの中間評価及び見直し（案）について	4件
12月25日	定例会		※報告案件のみ	2件
1月31日	定例会	第1号議案	野々市市立小学校における不登校重大事態に関する調査結果及び今後の対応について	3件
2月21日	臨時会		※報告案件のみ	1件
2月28日	定例会	第2号議案 第3号議案 第4号議案	平成29年度野々市市一般会計補正予算（3月補正）（案）教育費関係について 平成30年度野々市市一般会計予算（案）教育費関係について 所管する学校に対する業務改善方針及び計画について	7件
3月27日	定例会	第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 第9号議案 第10号議案	平成30年度教育目標について 野々市市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 野々市市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について 室の廃止について 平成30年4月1日付け職員異動内示について 所管する学校に対する業務改善方針及び計画について	4件

(2) 教育委員会活動の概要

教育委員は、教育委員会議への出席の他、市議会や学校訪問、各種行事等に合計228回出席しました。

① 市議会関係 35回

・本会議、教育福祉常任委員会等への出席

② 学校訪問、学校行事 33回

・入学式、卒業式、学校計画訪問、学校公開、運動会等への出席

③ 会議、研修会 57回

・県市町教育委員会連合会、教育委員代表者会等への出席

④ 各種行事 103回

・成人式、立志式、地区運動会等への出席

(3) 自己評価

教育委員会は独立した教育行政の執行機関との認識の中、委員それぞれの目線から現状の課題や問題、また、推進すべき事項等を委員会会議で慎重に審議しました。

委員会会議については定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催し、主要案件等適切に事案を処理できたと思います。また、報告事項については、口頭のみでなく、文書や図面等を用いて時間の短縮を図り、詳細な内容の聴取や審議の時間を多くとるように努めました。

教育委員会会議の状況については、審議した議案等の情報や会議録を市のホームページに随時掲載し、委員会活動についての広報に努め、開かれた教育委員会づくりに取り組んでおります。

学校教育においては、継続して全小中学校長との個別懇談を実施し、学校の運営方針や学校が抱える問題等について意見交換を行いました。

また、積極的に学校訪問を行い児童生徒を見守るとともに、授業参観や現場の教員との話しの中で各クラスの状況等を聞き、さらに管理職や主幹教諭・指導教諭等と懇談を行い、児童生徒に対する教育的課題や教師の教育指導方法などについての提言等を行い学校経営の向上をめざしました。

社会教育においては、顔の見える教育委員会として地区公民館の行事や教育委員会主催の講演会・スポーツ大会等に積極的に出席し、地域の状況や市民が求めているものの把握に努め、検討事項等を事務局へ提言しました。

市長と教育委員会とで構成する総合教育会議においては、市いじめ防止基本方針などについて協議・調整し、市長との相互連携を深めました。

また、図書館を含めた複合施設を活用したまちづくりを行っている先進地の視察研修も行いました。視察を通じて得た新たな知見を、カレードを中心とした文化交流拠点施設の運営や管理に反映させていきたいと考えております。

今後も、多様化する教育課題に真摯に向き合うとともに、市民が市教育行政に求めているものの理解に努め、市民のための教育行政の推進に努めて参りたいと思います。

(4) 学識経験者からの意見

学校訪問、学校行事、市や地域の各種行事に多数参加し、子どもたちや地域の状況、市民の求めているものの把握に努め、本市の教育行政において反映されていると思います。

また、学校訪問において管理職のみならず、主幹教諭・指導教諭等との懇談等を大事にされている点も評価したいと思います。教育課題や指導法に対する提言とともに学校教職員の多忙化の実態についても継続的に把握していただきたいと思います。

今後とも市民が健全な教育を受けられるようお願いしたいと思います。

(5) 今後の方針

教育委員会会議については、さまざまな問題を十分審議し会議の内容の充実を図るとともに、会議の概要や会議録について今後も迅速に市ホームページに掲載し、開かれた教育委員会、目に見える教育委員会として市民の皆様の理解を得るよう努めていきます。

地域や学校現場に継続して足を運び、児童生徒の様子や地域の様子を把握するとともに、教職員との対話を通して感じた課題や改善点については関係機関が一体となって対応していきます。

学校教職員の多忙化については、昨年度設置したタイムレコーダーにより教職員の勤務状況を正確に把握するよう努めております。今後、多忙化解消に向け、統合型校務支援システムの導入による校務事務の軽減など必要な措置を講じて参りたいと考えております。

また、教育行政の中長期的な方向性を示した「野々市市教育ユニバーサルプラン」の中間評価及び見直しを昨年度に実施しました。この結果に基づき、家庭・地域・学校と連携を図りながら、プランの具現化に向け、全力で取り組んで参ります。

3 事務事業所管課別点検評価

・(1-1) 教育総務課所管事業

1. 教育委員会費
2. 教育委員会表彰事業
3. 一般事務（教育総務課分）
4. 小学校管理事業（各小学校執行分）
5. 野々市小学校PFI事業
6. 事務局小学校管理費（教育総務課分）
7. 就学援助費（小中学校）
8. 特別支援教育就学奨励費（小中学校）
9. 小学校給食センターPFI事業
10. 中学校管理事業（各中学校執行分）
11. 事務局中学校管理費（教育総務課分）
12. 給食センター運営事業
13. 野々市中学校耐震改修事業（東校舎）
14. 館野小学校大規模改造事業
15. 御園小学校増築事業

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		教育委員会費			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 該当施策	8 住み続けたい!をみんなの声でつくるまち【行財政運営】 3 安定した行財政運営の推進 4 教育委員会施策の推進と評価			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が教育長及び教育委員5名に		事業の目的	教育委員会の職務を遂行するため。				
事業の内容	教育委員の職務に対する報酬(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に規定されたもの)及び旅費の支払い。		平成29年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・公民館やスポーツ等の地域活動への参加 ・先進地視察(埼玉県大和市等) 				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	教育委員会の開催		回	14	14	15	14
		学校訪問		回	24	30	33	33
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度予算	
		国庫支出金 (千円)	0		0		0	
		県支出金 (千円)	0		0		0	
		地方債 (千円)	0		0		0	
		その他 (千円)	0		0		0	
		一般財源 (千円)	2,072		2,587		2,190	
	事業費計 (千円)	2,072		2,587		2,190		

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加 ・先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加 ・先進地視察

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められており、適正に委員会の運営が行われている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		「開かれた教育委員会」、「目に見える教育行政」を目指し、今後も運営していくことが必要である。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		教育委員会表彰事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 該当施策	0 該当なし			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	該当なし				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし		根拠法令	該当なし			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市教育委員会が教育、文化、スポーツ及び青少年の健全育成において、顕著な功績や振興があったと認められる個人又は団体に		事業の目的	野々市市の教育の振興及び発展に資することを目的とする。				
事業の内容	毎年1回、文化の日に表彰を実施。		平成29年度 活動実績	表彰式 ・教育振興表彰25名				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	表彰式		回	1	1	1	1
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	532	536	516			
	事業費計 (千円)	532	536	516				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	文化の日に表彰式を実施。	文化の日に表彰式を実施。	文化の日に表彰式を実施。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	野々市市の教育・文化・スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市表彰と同一の日に表彰を行うことから、市表彰への上申を視野に被表彰者の把握を早期に進める必要がある。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		一般事務(教育総務課分)			所管	部	教育文化部
					課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 4 子育て支援の推進 1 子どもを産み育てやすい環境づくり			区分	自治事務 ソフト事業 補助事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実					
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 幼稚園就園奨励費補助金交付要綱			
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内から私立幼稚園に通園する園児の保護者に(幼稚園就園奨励費補助金)	事業の目的	保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図る。(幼稚園就園奨励費補助金)			
事業の内容	当該年度の市町村民税課税状況や世帯構成に応じて、減免した保育料を私立幼稚園を通じて各保護者に補助する。(幼稚園就園奨励費補助金)	平成29年度活動実績	18園の私立幼稚園、対象人数491人に対し保育料、入園料の一部を補助した。 事業費総計 63,775,000円 国補助対象事業費 61,838,800円 国補助金 19,394,000円(圧縮率94.09%) 県補助対象事業費 1,936,200円 県補助金 968,000円				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	補助人数	人	—	539	491	491
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	19,356	19,394	18,888		
		県支出金 (千円)	1,634	968	968		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	1,100	200	0		
		一般財源 (千円)	49,309	47,374	48,363		
	事業費計 (千円)	71,399	67,936	68,219			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	私立幼稚園を通じて各保護者に補助する。(幼稚園就園奨励費補助金)	私立幼稚園を通じて各保護者に補助する。(幼稚園就園奨励費補助金)	私立幼稚園を通じて各保護者に補助する。(幼稚園就園奨励費補助金)

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	B	B		
改善点	幼稚園就園奨励費は、子ども子育て支援新制度へ移行していない幼稚園を対象とする補助制度であるため、新制度への移行状況について注視することが必要となる。			

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		小学校管理事業(各小学校執行分)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり			区分	内部管理事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立小学校5校に		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。				
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための費用の支払い。		平成29年度活動実績	学校校務員、司書等の旅費支給。 学校施設の小修繕。 光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
			県支出金 (千円)	0	0	0		
			地方債 (千円)	0	0	0		
			その他 (千円)	0	0	0		
			一般財源 (千円)	12,085	12,919	13,256		
	事業費計 (千円)	12,085	12,919	13,256				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		適切な学校運営のために必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市小学校PFI事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード・ソフト事業 補助事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成16	年度	
					終了予定	平成37	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が野々市小学校施設・児童に		事業の目的	老朽化した野々市小学校の改築をPFI手法で行い、民間事業者の技術や創意工夫を最大限活用することにより、児童に対し充実した学校環境を提供し、また財政負担の軽減を図る。				
事業の内容	PFI手法により老朽化した野々市小学校の改築及びその後の15年間の維持管理も含めた業務を実施するもの。		平成29年度活動実績	・小学校の維持管理業務の実施(月1回の定例維持管理会議の開催) ・維持管理業務費、施設整備費(割賦払い分)の支出				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	野々市小学校8棟の耐震化率		%	100	100	100	100
		VFM(Value For Money)		%	15	15	15	15
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	187,600	0	0			
		その他 (千円)	113,396	0	0			
		一般財源 (千円)	76,891	77,375	78,023			
	事業費計 (千円)	377,887	77,375	78,023				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	H20.8.26締結の事業契約に基づき事業を継続するため。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		H20.8.26締結の事業契約に基づき事業を継続する。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		事務局小学校管理費(教育総務課分)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード・ソフト事業 補助事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小学校施設、児童に			事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。小学校の備品、消耗品の配備。			
事業の内容	小学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。給食設備の点検・清掃。ボイラー施設の整備、検査。害虫、鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベーターの保守。施設用地の借上。			平成29年度 活動実績	・施設の修繕や改修工事 ・電気、消防、プール設備、昇降機等の保守 他			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件	—	40	40	40	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	121,250	88,967	89,148			
	事業費計 (千円)	121,250	88,967	89,148				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査等、各種点検 ・電気、消防、プール設備、昇降機 の保守 他	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査等、各種点検 ・電気、消防、プール設備、昇降機 の保守 他	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査等、各種点検 ・電気、消防、プール設備、昇降機 の保守 他

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		就学援助費(小中学校)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校教育法第19条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が①生活保護法に規定する要保護者②要保護者に準ずる程度に困窮している保護者(準要保護者)に			事業の目的	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るため。			
事業の内容	援助項目:学用品費、通学用品費(1年生除く)、新入学用品費(1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、体育実技用具費(柔道着)(中学校就学期間中1回に限る)。			平成29年度活動実績	支給対象保護者への給付。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	支給決定児童生徒数	人	—	515	528	528	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	28	0	1			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	42,972	46,540	47,799			
	事業費計 (千円)	43,000	46,540	47,800				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 経済的理由による就学機会の格差是正を図るため、継続して実施することが必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		制度の周知徹底を進め、児童生徒の円滑な就学を図る。	

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		特別支援教育就学奨励費(小中学校)			所管	部	教育文化部
					課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進			区分	自治事務 ソフト事業 補助事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が① 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者② 特別支援学校の就学対象となる障害の程度を有しながら通常の学級に就学する児童生徒の保護者に			事業の目的	保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図る。		
事業の内容	援助品目:学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費(1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費、学校給食費。			平成29年度活動実績	支給対象保護者への給付。		
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	支給決定児童生徒数	人	—	44	36	36
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	558	612	745		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	3,265	1,848	2,241		
	事業費計 (千円)	3,823	2,460	2,986			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 経済的理由による就学機会の格差是正を図るため、継続して実施することが必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		制度の周知徹底を進め、児童生徒の円滑な就学を図る。	

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		小学校給食センターPFI事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード・ソフト事業 補助事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成22	年度	
					終了予定	平成41	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が児童に		事業の目的	各小学校給食施設の老朽化と新しい衛生管理基準への対応のため、小学校給食調理場の一元化を行う。また、PFI手法により民間の資金、経営能力の活用を図り、良好な施設整備や事業コストの削減を図る。				
事業の内容	小学校の給食センターの建設及び既存給食センターを含めた給食提供の運営及び施設の維持管理の業務をPFI手法により一体的に事業契約を行い実施するもの。		平成29年度活動実績	市内7小中学校へ安全・安心でおいしい給食の提供				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	新給食センター施設整備延床面積	m ²	1,830	-	-	-	
		VFM(Value For Money)	%	6.4	6.4	6.4	6.4	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	177,902	179,427	182,887			
	事業費計 (千円)	177,902	179,427	182,887				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校給食センター運営、維持管理業務実施	学校給食センター運営、維持管理業務実施	学校給食センター運営、維持管理業務実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	H24.9.25締結の事業計画に基づき事業を実施するため。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		H24.9.25締結の事業計画に基づき事業を実施する。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中学校管理事業(各中学校執行分)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり			区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立中学校2校に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。				
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費などの支払等。		平成29年度活動実績	学校校務員、司書等の旅費支給。 学校施設の小修繕。 光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	6,552	7,373	7,509			
	事業費計 (千円)	6,552	7,373	7,509				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)等の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)等の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支給。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)等の支払い。各種消耗品、医薬品の配備。その他一般管理。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		適切な学校運営のために必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		事務局中学校管理費(教育総務課分)			所管	部	教育文化部
					課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード・ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立中学校施設、生徒に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。中学校の備品、消耗品の配備。			
事業の内容	中学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベーターの保守。施設用地の借上。		平成29年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 野々市中学校プールろ過機取替工事 電気、消防、プール設備、エレベーターの保守 			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件	-	35	35	35
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	51,610	61,143	43,996		
	事業費計 (千円)	51,610	61,143	43,996			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		給食センター運営事業			所管	部	教育文化部	
						課	中学校給食センター	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(5) 地域に根ざした学校づくり				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小・中学校の児童・生徒・教職員に		事業の目的	安全で栄養バランスがよく美味しい給食を提供するために必要な施設の管理運営、消耗品・備品配備を行う。				
事業の内容	学校給食衛生管理基準に基づき、安全で栄養バランスがよく美味しい給食を、小学校は約3,300食/日、中学校は約1,500食/日提供する。		平成29年度 活動実績	エレベータ・電気設備・消防設備・空調設備・調理設備等の保守点検及び修繕 職員及び施設の細菌検査 (PFI事業で実施するもの除く)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。		-	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0	0		
		一般財源 (千円)	56,899	58,245	58,929			
	事業費計 (千円)	56,899	58,245	58,929				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	小学校給食センターの完成により、平成26年9月より市内すべての小学校及び中学校に給食の提供を開始した。小学校給食センターにおいて、平成27年1月よりアレルギー除去食に対応した。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		施設の維持管理に努め、食品の品質管理や給食従事者の健康管理など、衛生管理の強化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市中学校耐震改修事業(東校舎)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成24	年度	
					終了予定	平成33	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が野々市中学校施設・生徒に			事業の目的	学校施設の耐震化に向け、市内小中学校で唯一未耐震校舎である技術室棟(東校舎)の建替えを行う。また、校区内の生徒数も増加していることから、普通教室4室の整備も併せて行う。			
事業の内容	既存未耐震校舎の解体を行い、リース方式による建替え工事を実施 平成28年度 既存校舎解体、 校舎建替え工事実施 平成29年度～平成33年度 建物賃借(5年リース)			平成29年度活動実績	リース期間の開始 (平成29年度～平成33年度の5年間)			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない		-	-	-	-	-
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0	0		
		一般財源 (千円)	7,300	21,035	21,035			
	事業費計 (千円)	7,300	21,035	21,035				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	建物賃借期間 (～平成33年度まで)	建物賃借期間 (～平成33年度まで)	建物賃借期間 (～平成33年度まで)

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 教育環境の改善を図り、生徒数増加に対する必要教室数の確保と学校施設の耐震化を実施するため学校管理運営上必要な業務である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 日々変化する教育環境等を注視しながら、常に生徒たちが充実した教育が受けられるよう、より良い教育環境の整備に努める必要がある。			

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		館野小学校大規模改造事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード事業 補助事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	28	年度	
					終了予定	30	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が館野小学校施設・児童に		事業の目的	教育環境の改善を図る。				
事業の内容	建物を大規模改造することにより、教育環境の改善を図る。 平成28年度 実施設計 平成29年度 工事実施(校舎、体育館) 平成30年度 工事実施(校舎)		平成29年度活動実績	・第1期工事実施(校舎、体育館) ・定期的な打合せ会の開催(学校、施工業者、教育総務課の3者)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	-
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		財源内訳	国庫支出金(千円)	0	47,335	55,298		
			県支出金(千円)	0	0	0		
			地方債(千円)	0	131,800	116,400		
			その他(千円)	0	0	0		
			一般財源(千円)	0	16,346	39,503		
		事業費計(千円)	0	195,481	211,201			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	平成30年度で事業終了	平成30年度で事業終了	平成30年度で事業終了

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	平成30年度で事業終了予定。
	C	E			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		平成30年度で事業終了予定。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		御園小学校増築事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり			区分	自治事務 ハード事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	29	年度	
					終了予定	30	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が御園小学校施設・児童に			事業の目的	教育環境の改善を図る。			
事業の内容	児童数の増加に伴い、校舎棟(普通教室)を増築する。また、老朽化したトイレの改修を行い、教育環境の改善を図る。			平成29年度活動実績	工事に係る入札を実施			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	78,527	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	109,300	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	48,773	0			
	事業費計 (千円)	0	236,600	0				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	平成30年度で事業終了	平成30年度で事業終了	平成30年度で事業終了

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	工事費を平成29年12月に補正予算にて計上したため、予算の繰越を行い平成30年度末に事業完了を予定している。
		E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	平成30年度で事業終了予定。			

・(1-2) 学識経験者からの意見

若い世代が多い本市において、こうした若い世帯が子育てしやすい環境を一層充実させることが大切と考えます。こうした意味でも幼稚園就園奨励費補助金等の更なる充実をお願いします。

就学援助費、特別支援教育就学奨励費は全ての家庭への周知徹底に努められているとのことでありますが、経済的理由による就学機会の格差是正を図るために大切な事業でありますので、今後も継続していただきたいと思えます。

児童生徒の増加や施設老朽化にともなう増改築、グラウンドの整備やトイレの洋式化などの施設整備による教育環境向上・充実などが着実に実施されていると考えております。これらは野々市市の将来への貴重な投資であり、今後も適切な時期に適切な規模での実施に努めて頂きたいと思えます。

・(1-3) 今後の方針

- ① 私立幼稚園就園奨励費補助金については、国基準に合わせた補助限度額の引き上げを実施し、さらなる保護者負担軽減の拡充を図っていきます。また、幼児教育の段階的無償化について、国の動向に注視していきます。
- ② 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費については、引き続き、市内の小中学校に在籍する全ての児童・生徒に申請書を配布するなどし、制度の周知徹底を図っていきます。
- ③ 児童・生徒の増加、施設老朽化に伴う学校施設の整備については、対応に後れをとることのないよう慎重に推移を見守り、また、公共施設管理計画に基づき順次改修工事を実施し、児童・生徒の教育環境整備に努めていきたいと考えております。